

胃癌に対する緩和的放射線治療における内視鏡的肉眼型と治療効果の関連性

1. 研究の対象

2002 年 1 月～2025 年 5 月に当院で胃がんに対して緩和的放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

進行胃がんに対する緩和的放射線治療は、胃がんに伴う出血などの症状に対して、有効性が期待できる、負担の少ない比較的安全な治療です。この治療は最新のガイドラインでも取り上げられており、進行胃がん患者さんの生活の質（QOL）の向上が期待されます。

しかし、放射線治療実施前に有効性を予測するための指標については、まだ十分な根拠がありません。この研究では、胃がんに対する放射線治療を受けた患者様の、治療前の内視鏡画像所見（胃がんの形など）によって、治療効果（止血効果など）にどのような違いがあるのかを検討します。この研究の目的は、緩和的放射線治療前の内視鏡画像所見が、治療の有効性を予測するために役立つかどうかを明らかにすることです。

研究実施期間：研究実施許可日～2029 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：研究実施許可日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、これまでにかかったご病気（既往歴）、内服薬、胃がん病変の情報（部位、サイズ、形といった内視鏡画像所見など）、胃がんに対する治療歴、放射線治療の詳細（放射線の線量、回数、放射線の照射範囲）、採血データ（貧血の有無など）、輸血の有無・輸血量、放射線治療後の再出血までの期間、放射線治療に伴う有害事象 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら後述の連絡先までお問い合わせ下さい。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、後述の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話：018-884-6104

FAX：018-836-2611

研究責任医師：秋田大学医学部附属病院 消化器内科 渡邊 健太

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則